

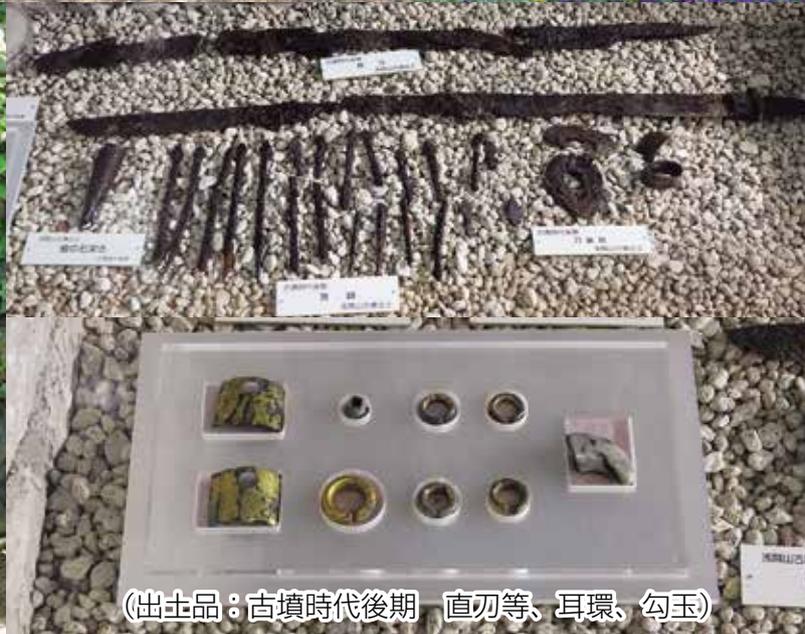


かみさと 議会 だより

- ◇3月定例会の審議状況 ……P 2
- ◇研修会報告・条例改正等 ……P 5
- ◇3月定例会一般質問に10人…P 6
- ◇6月定例会会期日程等 ……P16

上里町
指定文化財

浅間山古墳



99

(出土品：古墳時代後期 直刃等、耳環、勾玉)

神保原地内

上里町東部から本庄市西部の本庄台地の先端部に広がる旭・小島古墳群を形成する1基。墳形は、直径約38メートル、高さ約6メートルの円墳と考えられる。主体部は、角閃石安山岩を使用した同張両袖型横穴式石室で、石室の規模は全長約9.48メートル、埋葬部にあたる玄室は長さ6.48メートル、奥壁幅2.2メートル、最大幅2.4メートル、天井部高2.5メートルである。入口にあたる羨道は長さ約3メートル、幅1.2メートル、高さ1.8メートルである。

第1回 3月 定例会

3月6日～3月23日



上里町手話言語条例・上里町ネコの愛護及び管理に関する条例を可決
令和5年度一般会計・特別会計・企業会計の当初予算を可決

3月定例会は、3月6日に開会され、議員10名の一般質問と町長提出議案21件他を審議して3月23日に閉会しました。

◆ 条 例 ◆

要旨 上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 「民法等」の一部を改正する法律」の一部の規定が施行されることに伴い、所要の改正を行うものです。

要旨 上里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 児童の安全の確保の規定及び学校、児童福祉施設等におけるバス送迎の安全管理の徹底に係る「児童福祉施設等の設備及び運営に関する基準等」の一部を改正する省令」が公布され、また「民法等」の一部を改正する法律」の一部の規定が施行されることに伴い、

所要の改正を行うものです。

要旨 上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 児童の安全の確保の規定及び学校、児童福祉施設等におけるバス送迎の安全管理の徹底に係る「児童福祉施設等の設備及び運営に関する基準等」の一部を改正する省令」の公布に伴い、所要の改正を行うものです。

要旨 上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

要旨 「健康保険法施行令等」の一部を改正する政令」に準じ、出産育児一時金の支給額を引き上げる改正を行うものです。

要旨 上里町手話言語条例

要旨 手話が言語であるとの

◆ その他 ◆

造物の追加撤去等のため、工事請負額に2562万5千600円を増額し、1億6589万7千600円に変更を行うものです。

要旨 上里町が本庄市に委託する一般旅券の申請受理及び交付等に係る事務の変更

要旨 「旅券法」の一部改正に伴い、埼玉県の条例である「知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例」が一部改正されるため、上里町が本庄市に委託する一般旅券の申請受理及び交付等に係る事務“を変更するとともに、

◆ 道路線廃止 ◆

要旨 上里町道路線の廃止

要旨 町道4路線の廃止をするものです。

◆ 道路線認定 ◆

要旨 上里町道路線の認定

要旨 町道5路線の認定をするものです。

◆ 契 約 ◆

要旨 工事請負契約の変更

要旨 神流リバーサイドロード築造工事について、河川構

◆ 令和4年度補正予算 ◆

概要 上里町一般会計補正予算(第12号)

概要 歳入歳出それぞれ46

38万8千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ116億4412万6千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・公共施設等用地取得及び施設整備基金積立金

1億6419万4千円

- ・減債基金積立金

1億6403万1千円

- ・障害者福祉事業

- ・子どもための教育・保育給付事業

541万2千円

- ・教育施設整備基金積立金

4269万9千円

- ・教育施設整備基金積立金

1億5千万円

一般会計の他、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

◆ 令和5年度予算 ◆

要旨 一般会計、国民健康保

険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計、下水道事業会計を慎重審議のうえ可決しました。(下表参照)

なお、予算の概要については、「広報かみさと4月号」に掲載してありますので省略いたします。

◆ 人 事 ◆

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(諮問)

要旨 現委員の任期満了により、5名を推薦することに意見を求めるものです。

◆ 条例等(議員提出) ◆

上里町議会基本条例の一部を改正する条例

要旨 地方自治法の改正及び上里町議会の議員の定数を定める条例との内容重複により、所要の改正を行うものです。

上里町ネコの愛護及び管理に関する条例

要旨 ネコの適正な飼養に関する事項を定めることにより、動物愛護の意識を高め、環境衛生の保持を図るため、新たに制定するものです。

◆ 意見書 ◆

保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書(案)

要旨 1 保育士の配置基準の見直しを行うこと。2 賃金水準の引き上げなど更なる処遇改善を図ること。3 保育士の処遇改善に必要な財源を十分に確保すること。以上の項目について実施するよう要請するものです。

教員不足解消のため、定数改善など抜本的な改善を求める意見書(案)

要旨 学校現場の疲弊と教職員の多忙化を解消するため、正規教員増を図る抜本的な対策を講じるよう求めるものです。

令和5年度一般会計・特別会計・企業会計 当初予算集計表

(単位：千円)

区分	会 計 名	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減率
	一 般 会 計	10,583,400	9,613,000	10.1%
特別会計	国 民 健 康 保 険	3,143,986	3,128,878	0.5%
	介 護 保 険	2,158,346	2,138,787	0.9%
	後 期 高 齢 者 医 療	391,449	370,881	5.5%
	農 業 集 落 排 水 事 業	34,975	21,688	61.3%
企業会計	水 道 事 業	1,367,265	970,676	40.9%
	下 水 道 事 業	718,388	609,420	17.9%

※水道事業及び下水道事業は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

3月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名												結果		
	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子		高橋 仁	黛 浩之
上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町手話言語条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町が本庄市に委託する一般旅券の申請受理及び交付等に係る事務の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和4年度	上里町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町水道事業会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和5年度	上里町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議	可決
	上里町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	長	可決
	上里町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
	上里町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
	上里町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
(諮問第1号) 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
(諮問第2号) 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
(諮問第3号) 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
(諮問第4号) 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
(諮問第5号) 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
上里町議会基本条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町ネコの愛護及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書(案)	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×		可決
教員不足解消のため、定数改善など抜本的な改善を求める意見書(案)	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×		可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○)賛成 ×反対

令和4年度児玉郡市町議会議員合同研修会

令和5年2月21日（火）、児玉郡市各議会による共同開催で、上里S A 周辺地区内工業団地にある大和ハウス工業(株)のマルチテナント型物流施設の視察を行いました。



議員提案条例可決

「上里町ネコの愛護及び管理に関する条例」

【趣旨】

- ・適正な飼養等に関する事項を定めることにより、動物愛護の意識を高めるとともに、環境衛生の保持を図ることを目的とする。

【飼い主の責務】

- ・生態、習性及び生理を理解し、愛情を持って接するとともに、終生飼養するように努めなければならない。
- ・健康及び安全を保持するとともに、人に迷惑を及ぼさないように努めなければならない。

【飼い主の遵守事項】

- ・えさ及び水を適正に与えること。
- ・疫病の予防及び健康の保持に必要な検査、予防接種、治療その他の措置をとること。
- ・公共の場所、他人の土地、建物等を汚損させないようにすること。
- ・排せつ物を適正に処理すること。
- ・屋内で飼養するように努め、屋外で放し飼いにしないように努めること。
- ・みだりに繁殖して適正に飼養することが困難となるおそれがあるときは、生殖を不能にする手術その他の必要な措置を講ずるよう努めること。
- ・名札等の装着その他の必要な措置を講ずるよう努めること。

※みだりにえさ又は水を与えてはならない。（地域で適正な飼養管理を受けているネコへのえさやり等はこの限りでない。）

※遺棄してはならない。

※やむを得ず飼養することができなくなったときは、適正に飼養することができる者に譲渡するように努めなければならない。

※町長は、条例の違反者に対し、指導、勧告、命令を行うことができる。



「上里町議会基本条例」の一部を改正

地方自治法の改正及び上里町議会の議員の定数を定める条例との内容重複により改正されました。

受賞おめでとうございます

全国町村議会議長会より高橋正行議員（在職15年以上）、埼玉県町村議会議長会より植原育雄議員（在職12年以上）、新井實議員（在職20年以上）が、地方自治の進展に寄与された功績により表彰されました。



（写真は高橋正行議員㊦、植原育雄議員㊧、新井實議員㊨）



高橋 勝利

問 選ばれる町・住みたい町の根拠について

答 就任以来の町長としての所信である

1 質問 選ばれる町・住みたい町について

問 町長が常日頃発信している、選ばれる町・住み続けた町の言葉の重要性をどこまで考え、町民に唱えてきたのか。

答 平成30年に町長に就任した際、上里町は選ばれる町・住み続けた町にならなければならぬと唱えてきた。根拠は、日本社会全体の課題となっている人口減少を抑制するための努力をしていく必要や、関係人口の取り組みを進め、上里ファンを増やす事が重要と考えてきたためである。

問 北関東自治体ランキング1・2位の自治体と、上里町の評価を踏まえた町の幸福度について。

答 町の幸福度について、人が生活していく中で、自分が幸せであるという気持ちになる事は大切であり、町民の皆様が幸せであると感じていただいたためには、日々の暮らし

に満足されている事が重要であると考えている。

問 住みやすさの基準について。

上里町の住みやすさの基準には7項目あり、交通事情・賃貸住宅・子育て教育の充実・仕事・求人状況・街の助成金などがある。他の自治体と比較して何が不十分なのか。

答 アンケート調査の結果には、医療、福祉のサービス、交通の便が悪いといった点が不十分である御意見もいただいている。この御意見について真摯に受け止め、選ばれる町、住み続けたい町となるように努力してまいりたい。

問 幸福度と住み続けたい気持ちの構造について。

流山市では、「母になるなら流山市」と呼びかけている。上里町も「子育てするなら上里」をアピールしてどうか。

答 住み続けたい気持ちを高めるためには、住みやすさはもちろん地域の方々の繋がりが重要である。特に11月に開

催した小さな駅前を旅するマーケットには幅広い年齢層の方に来場していただき、若い家族連れも多く来場したことから子育てをPRする場として効果があったことを認識している。



ちいさな駅前を旅するマーケットスタンプラリー

東京一極集中を改善したい考えだが、町長のお考えは。

答 国の総合戦略に示されている内容を踏まえ、町に適合した地方創生を進めていく事が重要である。埼玉版スーパーシティプロジェクトについては、令和4年にエントリーした。

2 質問 部活動地域移行について

問 段階的に地域移行を検討してきた今日までの取り組みと今後の課題について。

答 教育長 総合型地域スポーツクラブ、各スポーツ少年団、スポーツ協会と意見交換会を実施し、既存の組織が運営団体実施主体となり得るのか模索している段階である。実現可能なのか、無理な計画なのかについては、競技ごとの細かい運営方法など課題が山積している。

問 地方移住1万人目標について政府は、田園都市構想で東京から地方への移住を年間1万人とする目標を打ち出し、2027年までに地方のデジタル化を重点的に推進し、子育て、雇用改善をすることで



戸矢 隆光



問 町の商業施設跡地の買収・貸与を知らないのでは

答 アンケートは駅北に何を求めるかの調査である

質問 1 町道藤木戸勝場線と
県道藤岡本庄線の交
差点の整備と信号機
の設置について

問 この交差点は県の事業として改良され一部分を残して終了となるが、右折レーンが出来るほど広くなるのに信号機が設置されるとの話もなく、過去には死亡事故も発生したと聞いており、早急な設置要望が必要ではないか。

答 県では信号機は設置予定で今後も警察と協議をしていく。信号機の新設には東側の押しボタン式信号機の廃止が必要であり、また長幡小学校及び地元住民の同意が必要で引き続き丁寧な説明を行い、合意形成が図られるよう努めていきたい。

答 教育長 信号機設置の重要性は十分理解しており、地域住民や保護者の同意が確認されれば協力したい。



交差点部分

質問 2 福祉施設の避難訓練
について

問 福祉施設の避難は、関係者の指示による入居者の安全な避難場所への誘導を最優先とし、浸水想定区域内の要配慮者利用施設では避難確保計画の作成が義務化されている。この計画が実効性のあるものとなるよう講習会やモデル的な避難訓練を実施してほしい。

答 県では信号機は設置予定で今後も警察と協議をしていく。信号機の新設には東側の押しボタン式信号機の廃止が必要であり、また長幡小学校及び地元住民の同意が必要で引き続き丁寧に説明を行い、合意形成が図られるよう努めていきたい。

問 福祉施設職員の心配する声があるため、県の担当による講習会又は避難訓練の必要があるのではないか。

答 福祉施設でのモデル的な避難訓練等は、訓練会場の福

社施設のご理解とご協力が不可欠で、施設連携と同時に他自治体の先進的事例等を前向きに調査研究して進めたい。

質問 3 駅北まちづくり事業
について

問 大型商業施設跡地については、地権者様から町のための活用方法の相談を頂き、本市の学校法人と協議を重ねていると聞いているが、議長に文書が届いてから3年が経過しようとしており、トップセールスを謳っても先に進まなければ話にならない。貴重な土地を出していただく地権者様にも迷惑が掛かるのではないか。町の所有地でないで固定資産税や様々な経費がかかるのではないか。ある程度の期限設定も必要ではないか。一旦立ち止まり整理も必要ではないか。

答 アンケートは町づくりの大きな方向性を定めるために始めたものであり、町民が事業費に関係なく駅北全体に何を求めるかを調査するものである。

問 駅北まちづくりの計画を3月中に作りたいたいと言っているがメインが決まっていなくて計画書を作るといっているが無謀ではないか。一旦整理をする必要があるのではないか。

答 教育機関の誘致は、昭和47年ごろからの町の悲願であり、これまで上里町を築いてきた人達の町に対する熱い想

いである。

問 アンケートの実施は知っているが、町による跡地の買収は知らないのではないか。

答 アンケートの実施は知っているが、町による跡地の買収は知らないのではないか。

答 アンケートの実施は知っているが、町による跡地の買収は知らないのではないか。

答 地権者の交渉が大詰めになってきているので計画も着実に進めていきたい。

答 地権者の交渉が大詰めになってきているので計画も着実に進めていきたい。



新井 實

問 今後の神保原駅北まちづくりについて

答 大型商業施設跡地取得に向け交渉中

質問 1 有機農業で町おこしについて

問 化学肥料や農薬などを使わない有機農業で町おこしをするについて。

答 アグリパーク上里では、キュウリ、ニンジン、小松菜など有機農産物の取扱いがありますので、町のふるさと納税返礼品としての活用について、埼玉ひびきの農協と調整をしてまいります。

質問 2 給食費の「公会計化」について

問 学校の給食費を自治体の「公会計」に組み入れることについて。

答 教育長 学校給食費を公会計に組み入れた場合、徴収・管理を町が行うと同時に、賄材料費に係る事務を行う必要があるため、公会計に入れることは難しいと思われます。

質問 3 コロナ感染者の死者急増について

問 高齢者をコロナ感染から守る感染対策及び医療の重点化と医療ひっ迫を防ぐ体制づくりについて。

答 直接の支援は県が行っており、町は国や県からの情報を町内高齢者施設に提供する役割を担っています。また新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から感染症法上の5類感染症に位置づけが決定され、国は医療提供体制について、幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症患者に対応する体制へと段階的に移行していくとしています。

質問 4 上里町下水道終末処理場跡地利用について

問 上里町下水道終末処理場跡地に17号国道バイパス本庄道路建設に合わせて、「上りの道の駅」の誘致を国交省に働きかけていることについて。

答 現在、様々な国の関係機関と複数回にわたって面談やオンラインにより多面的な相談や意見交換を行うほか、国

議員への協力要請、さらには道の駅を計画中の自治体を訪問し、整備手法などの検討を重ねております。



上里町下水道終末処理場跡地

質問 5 神保原駅北まちづくりについて

問 令和4年度内で神保原駅北まちづくり基本計画が出来上がり、令和5年度からその基本計画に基づく、今後の町づくりの進め方について。

答 基本計画については、年度内の策定に向け、昨年12月から1月にかけてパブリックコメントを実施し、2月には住民説明会を開催しました。その中でも大型商業施設跡地の利活用について、町民の関

心が高く、今後の町の発展に重要な位置づけがあると受け止めており、現在土地の取得に向けて地権者との本格的な交渉に入っています。今後はあらゆる可能性を含めた取組を進め、町づくりが目に見える形で町民にお示しできるような力を尽くしてまいります。



大型商業施設跡地

質問 6 自治体の子ども子育て支援策について

問 急速に進む少子化・人口減少に歯止めをかける為の、子ども子育て支援策について。

答 令和5年度の支援策については、出産祝金の第3子以降への増額、出産祝品の選択肢を増やすことなどの取組を考えています。



石井 慎也



問 このはな芝生広場に遊具を設置してはどうか

答 検討し改良を図っていく

1 上里サービスエリア 周辺事業について

問 このはなパーク内芝生広場に未就学児が遊べる遊具や障害のある子供も一緒に遊べるインクルーシブ遊具を設置してはどうか。

答 このはな芝生広場はイベント開催等に活用できるような遊具などの定着物はできるだけ配置せずオープンスペースの確保を優先している。一方で小さい子供が遊べる遊具の設置を望む声も寄せられていることからイベントの活用状況も踏まえ、広い世代の利用を想定し遊具などの配置も検討し改良を図っていく。



このはな芝生広場

問 町の計画にはサービスエリア西側を流れる神流川の河

川敷に町民や来訪者のレクリエーション・交流の場として水辺緑地の整備を検討するところがあるが、現在までにどのような検討がなされてきたのか。

答 河川の中ということで国交省と相談している。町で条件の整理を行って今後の見通しを立てたい。

問 上里サービスエリア周辺地区の整備方針によると観光農園や体験農園など新たな取り組みを推進するところがあるが、現在までにどのような取り組み、検討がなされてきたのか。

答 サービスエリア周辺の農地は農業振興地域のため農地転用が原則不許可となり利用に厳しい制限がある。

問 農業体験ゾーンの取り組みとして、埼玉ひびきの農協が実施する田んぼオーナー事業があり上里町が3万円を補助金として出している。

問 省エネ対策と地球温暖化対策の一環としてクールビズやウォームビズが行われるが室温の感じ方には個人差があるため月日を決め一律で実施するのではなく通年で実施してはどうか。

問 サービスエリアの北側の畑で栽培されている景観作物を利用して観光客の集客に力を入れてはどうか。

答 年間通しての導入は社会経済の変化に注視し対応していきたい。

答 新たな観光ガイドを作成し町ホームページに掲載している。観光物産に特化したSNSを新設し定期的に更新し

問 産前産後休暇、育児休業、年次有給休暇の一職員当たりの平均取得日数は何日になるか。

答 産前産後休暇は前6週、後8週の範囲で取得率は100%となっている。育児休業の取得率は女性100%、男性64%で平均取得日数は約25日となっている。年次有給休暇は全職員の平均取得日数は9日6時間となっている。

問 上里町は全国にある類似団体内で人口当たりの職員数が少ない町としてランキングしているが職員の人数が足りず日常業務や休暇の取得に支障は出ていないのか。

答 時間外勤務は1ヶ月の1人あたり平均は8.6時間で全国平均と比較して突出した状況ではなく業務に支障は来していない。

問 カスタマーハラスメントから職員を守るために上里町で行っている対応は何かあるのか。

答 基本的な対応方法を共有できるマニュアル作成が必要であり研修などの検討もしていく。



一般質問



齊藤 崇

問 自治体DXの推進は

答 令和7年度中に完成を目指す

1 将来を担う子どもたちの体力について

問 近年、特にコロナ禍において子どもたちの体力低下が懸念されている。子どもたちの体力向上に向けた体育授業について、授業内容は適切か。

答 教育長 学習指導要領に示された内容を基に、授業単元毎の指導計画が作成され、その計画に則り実施している。県の目指す「学習規律を確立させ、力いっぱい運動し、思いっきり汗をかく『楽しい』体育授業」が実施できるよう取り組んでいる。



5年生の体育授業風景

問 家庭においての体力向上の取組みも重要と思うが、児童・保護者にとどのような指導、

周知を行っているか。

答 教育長 規則正しい生活の確立が重要。そのため、各学校は健康に関する問題について、保護者に正しく理解してもらうために学校保健委員会を開催し、体力テストの結果を基に、子どもたちの体力の現状と運動習慣の大切さを伝えている。

問 社会全体で取り組む子どもたちの体力向上の施策、行政も主体的にスポーツイベントの開催等を実施することが重要と思われるが。

答 町の事業として、町子ども会・育成会の事業でなわとび大会や、健康体力づくり推進協議会の歩け歩け運動、乾武マラソン大会等を開催。今後子どもたちがスポーツに接する機会を創設し、参加しやすい環境の整備をしていく。

2 高齢化が進む中、高齢者の社会活動について

問 現在、地域社会に多くの高齢者が携わっている。しか

し、加齢に伴い心身ともに衰えは否めません。健康管理が不可欠である。町は「かかりつけ医」を推奨しているが。

答 加齢に伴い、身体的・精神的な機能も低下するため、健康管理は重要な事だ。町では国民健康保険に加入している方へ特定健康診査を実施。また、生活習慣の改善が特に必要な方には特定保健指導を実施。医療機関を受診するには、まず「かかりつけ医」に相談することを勧めている。

問 健康寿命が注目されている中で高齢化社会における健康づくりについて、国も健康寿命を延ばす施策を掲げていますが、町はどのような事業に取り組んで行くのか。

答 町はこれまでの取組みに加え、令和6年度開始を目指し、国の健康寿命延伸プランに掲げられる高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を推進し、高齢者の疾病予防と生活機能の維持を支援していく。

3 自治体DXについて

問 自治体DXを推進することで業務のやり方を変え、町民に対し利便性を高めた行政サービスを提供する、例えば「書かない窓口」等を早急に取り組んで欲しいが。

答 行政におけるデジタル化の遅れが露呈したことで、自治体DXと言われるデジタル化への対応、緊急性が大きく高まった。また、今後は今よりも少ない職員で行政サービスを維持しつつ、スマート自治体への転換の取組みこそ自治体DXと考える。

問 自治体DXを推進するにはデジタル人材の育成・確保が不可欠と思うが。

答 令和4年9月よりNTT東日本の社員をDX推進アドバイザーとして委嘱、自治体DXの推進をはじめ、地域社会のデジタル化、職員研修等の実施など総合的に支援をしていただいている。



植原 育雄

問 駅北東通り線と駅前広場の接続箇所は

答 関係機関と接続箇所を協議したい

1 町の特色ある定住化支援について

問 人口減少を食い止める町の特色ある定住化支援策について。

答 子育て支援のため公立保育所の統合や公園整備、18歳以下の医療費無料化等を実施。子育て支援策を分かりやすくまとめた「上里町こむぎっちょ子育てサポート・子育て10のサポート」を作成。又、町の魅力向上や交流人口の拡大のため駅北マーケット等イベントの実施や上里サービスエリア周辺等の観光集客施設等の整備や取組みを積極的に実施したい。

2 町の事業と実現性について

問 駅北の低未利用地を活用した教育機関の誘致について。

答 用地取得は地権者の代理人と打合わせをしている。コンパクトで持続可能なまちづくり推進の為、学校法人と適

宜協議し移転計画を実現したい。

問 駅前広場の設計と検討について。

答 具体的な設計検討を関係機関と進め、又駅前広場空間活用方法は地域の皆様の意見を伺いながら進めたい。

問 駅北東通り線は駅前広場のどこに接続するのか。

答 駅前広場の設計検討について、引き続き関係機関と協議を進めながら検討していきたい。

問 橋上駅舎化による駅機能の改善について。

答 JR東日本と協議し、町の玄関口として、快適で機能的な駅舎としたい。

問 駅北の道路整備の流れについて。

答 神保原停車場線の道路管理者の埼玉県と協議を進め、一日も早い完成を目指したい。

問 古新田・四ツ谷線に接続する交差点の改良について。

答 現在、都市計画変更に向けた設計業務を行っている。

線形及び幅員等を変更し、現在の五差路から四差路へ交差点の改良を行う。

問 こむぎっちょ号の現制度の延長について。

答 次期公共交通サービスの検討期間を確保する為、現制度を2年間延長し、次期公共交通開始時期を令和7年度としている。

問 リバーサイドロードの工事の進捗等について。

答 神流リバーサイドロードは、令和5年度の発注予定が着手されると約68%の区間が工事着手となる。接続予定の県道藤岡本庄線改修工事は本庄県土事務所にて整備を要望。令和6年度末から7年度末頃までには道路築造本体工事を完成させたい。

3 旧中山道沿線の文化財の管理について

問 浅間山古墳の管理者が高齢で大変な為、町が管理できないか。

答 浅間山古墳は宗教法人の

所有地であることから、町による維持管理は困難である。

答 教育長 町文化財保護条例により、指定文化財の所有者が管理に当たることになっている。

問 国土交通省関東運輸局が「江戸街道プロジェクト」を進めている。江戸の日本橋を起点とした5街道が対象で、中山道沿線に浅間山古墳があり、関東運輸局観光部長等が浅間山古墳の石室等の調査に来ている。この事業を利用して整備ができないか。

答 中山道を歩く人が休める東屋のような休憩所が必要と思われるが、町の土地でないので、しっかり協議して進めたい。



浅間山古墳の石室



飯塚 賢治

問 AYA世代がん患者の住宅療養支援について

答 県の助成制度事業化の場合参加できるように調整

質問 1

防災について

問 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を利用して介護施設等における防災・減災対策を進めることについて。

答 周知に努め、相談時に積極的な交付金の活用を行い、利用者の安全かつ安心を確保できる施設の整備を推進してまいりたい。

問 災害対策機能強化の一環として、避難所のトイレ整備には、総務省の緊急防災・減災事業債を活用して、多目的トイレや温水洗浄便座つきトイレの設置促進に取り組むことについて。

答 補助金や起債を活用することで費用負担の軽減を図りながら、施設の改修等と併せて温水洗浄便座を備えた多目的トイレの整備を進めてまいりたい。

質問 2

若年がん患者について

問 AYA世代がん患者の6割以上が終末期の在宅療養を希望しているが、公的支援が整っていないため、経済的に安心して在宅で過ごせない現状にある。県として補助する事業実施の仕組が整ったときには、町として支援する事業実施に踏みきっていただきたいと考えるが。

答 県では小児・AYA世代終末期がん患者の在宅医療体制の整備に対して、令和5年度から予算化された。内容は、終末期のがん患者が自分の希望する場所で終末期を送ることができるよう医療体制を整備するもので、がん診療連携拠点病院、地域の医療従事者や市町村等とのネットワークの構築、研修等を実践することにより体制を整備しようとするものである。患者さんに対する助成は事業化されていない。今後、県の助成制度事業化の場合、近隣市町ともに参加できるように調整してまいりたい。

※AYA世代(Adolescent and Young Adult)…一般的に15歳から39歳までの年齢層の人



質問 3

てんかん対策の充実について

問 てんかん発作に対して、このたびは口腔用の液薬「ブコラム」が薬事承認され、令和4年7月19日付で関係各官庁事務連絡において、学校等におけるてんかん発作時の「口腔用液(ブコラム)の投与について」が発出された。学校側がブコラム投与に適切に対応できる体制整備はいかがか。

答 教育長 今回の措置は、てんかん発作時で生命が危険な状態等である場合に限定さ

質問 4

環境問題について

れている。管理職、養護教諭を中心に組織的に対応できるように校内研修体制の整備を図る。ブコラム使用方法のビデオ等の活用をしてまいりたい。

問 日本は2030年までに温室効果ガス排出量を46%削減(2013年比)することを表明している。町民一人一人に意識してもらおう施策としてグリーンライフポイントの導入はできないか。

答 導入に係る経費負担などで、当町としては制度の導入を見送ってきた。第3次応募期間も昨年末で終了し、現状では参加はできない状況である。全国的にポイント発行している事業もあるので、広報等による啓発活動を積極的に行っていきたい。



金子 義則

問 上里町の交通事故対策と学校生活について

答 改善に向け現在対応中

1 現在のの上里町に於いての交通事故状況について

問 現在上里町における交通事故は県内でもワースト3に入るほど多いのが現状である。本庄上里地域の交番別事故発生件数でも断トツで一位となっている現状であるが、今後どのような対策をしていくお考えか。又駅南側の交番設置の要望は可能なのか。



答 この危機的状況を改善すべく交通安全運動をはじめ各種啓発事業に取り組んだ。また、学校における通学路総点検や各地区区長及び住民の皆様方からの情報を基に整備を進めていきたいと考えている。高齢者に対する交通事故対策についても、現在コロナ禍の

2 上里の公立学校の校則について

為に中止となっていた高齢者が集まるイベントなどに積極的に参加し、警察との連携・協力をはかり、あらゆる機会を捉え、交通安全教室や啓発活動を開催して対応していく。交番新設については、基本的に現在警察では対応していないという事ですが、安全な生活環境を維持する為にも引き続き要望を行っていく。

問 近年学校での校則問題が大きく報道され、ブラック校則等と言われることも有る。時代の流れに即していない決まりごとがあるように思う。身なりについて髪の長さやリボンの色の指定、またゴム紐の色や形、靴の色の指定や靴紐までの指定があるが、どの様に考えているのか。

答 教育長 学校の校則については、現在各学校において現状を踏まえ、改定をしてい

3 上里町公立学校のいじめについて

る。ゴムの色の指定やリボン・飾りの禁止については、学校生活上の規律として定めているもので服装が華美にならないように決まりを設ける事は必要ではないかと考える。今後も学校や地域の状況、社会変化等を踏まえて、改めて学校の教育目標に照らして適切な内容になるように見直しを行う事が求められると考えている。児童生徒の健全な成長の為に取り組んでいきたい。

問 いじめ対応についてお伺いしたい。昨今教育委員会や学校での初期対応が遅れ、尊い命が亡くなるという事例が数多くある。このような事は絶対におきてはいけない事である。いじめている本人は軽い気持ちでいると思うが、いじめられている子は大変な状態であるのは間違いない。隠すことなく、どのような対応を

答 教育長 生徒指導はもとより、定期的に児童生徒への生活アンケートの実施を行い、保健室やさわやか相談室などの相談体制を充実させることにより早期発見に努めている。また現在教育委員会に相談があった事案では、今後重大事案になるようなものはない。また不登校につきましては例年30名程度で推移をしている状態です。いじめやひきこもりについての小・中学生に関する相談は学校だけでなく、教育委員会でも行っていますので引き続き周知・啓発を行うとともに、いじめの未然防止・早期発見に取り組んでいく。





沓澤 幸子



問 給食費や教材費の無償化の検討は

答 教材費の消耗品分は学校の予算を増額

1 暮らし応援事業について

問 新年度予算には、祝い金や学校給食費の無償化などを打ち出す自治体が増えている。「子育て日本一」をめざす町の子育て支援策、給食費や教材費の無償化の検討は。

答 出産祝い金の第3子以降への増額や出産祝い品を追加し選択肢を増やす。男性の育児参加促進の講座も検討。教材費の消耗品分は学校の予算を増額する。学校給食費の無償化は、本庄市もはじめたので、会議の中で研究を指示した。



教材の一例

問 国民健康保険税の子どもの均等割は、子育て支援に逆行する。全国では、独自減免や多子世帯減免を、国保法や

地方税法の規定を活用して実施している自治体もある。国の通達もあると思う。18歳まで軽減する場合の財源規模は、赤字とみなされない実施を求める。

答 未就学児から高校生まで530人で、全額無料には800万円必要です。保険税の負担緩和を図る目的での一般会計繰入金金は法定外繰り入れとなる。しっかりと検討し精査したいが、独自の減額賦課は大変難しいと考える。

問 物価高騰は、すべての世代に影響している。水道料金の負担軽減は全町民のくらしを応援できるので、引き続き実施を。

答 水道は生活に欠かすことができないものであり重要な支援の一つになると思うが、全世帯支援は予算規模が大きいため、臨時交付金のような補助制度を活用し、実施していく考え。

問 65歳以上の要介護高齢者と同居し、常時介護をしてい

る方に、月額7000円を給付する「要介護高齢者介護手当」の増額見直しを。

答 介護の労をねぎらう目的から、支給額の多寡の判断は難しい。多角的に調査研究していきたい。

2 駅北まちづくりについて

問 まちなかふれあいゾーン計画の地権者・学校法人との協議内容と協議回数、到達点及び課題は。アンケートでは、医療や福祉関係を望む声が多いですが、学校教育施設の誘致を変える考えはないのか。

答 今年度も地権者の代理人と6回、学校法人と5回交渉を継続。建物の解体について検討中。用地買収は、高い安いで評価できない。高校が来ることがイメージアップや相乗効果となる。

問 駅南側からの利便改善は必要だが、人口減少や働き方も変わる中で、利用者増加の可能性は少なく税収減も予想

される。町民生活を支えることが求められる中、他の事業計画とのバランスもある。自由通路を活用した橋上駅の事例はあるのか。

答 駅南側からの利用者の利便性を第一に考え、JR東日本と技術的な協議を進めている。コストも下がる既存の自由通路を活用した半橋上駅舎も視野に取り組んでいる。兵庫県たつの市が計画中のよう。

問 当初目的の神保原停車場線のクランク解消と歩道整備の用途はどうか。大きな開発よりも、空地を活用した憩いの場や移動販売を含めた定期的な買い物ができる場など、今困っていることを優先するスケジュールに。

答 来年度は、県道神保原停車場線の都市計画決定に向けて協議を進める。並行してマーケット開催や駅北の魅力向上の施策を検討したい。

※他にも「二酸化炭素排出ゼロへの取り組み」についても質問しました。



猪岡 壽



問 公会堂建設補助金について

答 既存の補助率の妥当性等を勘案し検討する

1 地区公会堂建設補助金について

問 例として公会堂建設資金は2800万円程度必要で、宝くじ補助金1500万円の助成を受け公会堂建設の主な資金としている。残り1300万円は手持ち資金500万円と金融機関からの借入800万円とした。但し、借入には保証人が必要だ。10年以上は金利が高いため、10年以内の返済にしている。それにしても10年の保証人は精神的に大変だ。補助金を新設し、返済期間を少しでも短縮して区長や保証人の心労を減らしたいが、

答 地区公民館の補助金について、町からの公的財政支援は、既存の補助率の妥当性及各種補助金との整合性と合わせて研究したい。



地区公会堂

2 町の基金について

問 町資産の基金の3年度残高は55億5500万円で、前年度比3億6000万円の増である。これに対し負債の地方債残高は81億3000万円で資産の基金より多い。そこで、土地開発公社の預金13億円を基金に組入れたら如何か。現預金を使用せず、地方債を増やすのは矛盾があるが町長の見解は。

答 土地開発公社の準備金約13億円の活用については、国、県との協議また開発公社の活用方法などあらゆる観点からの検討が必要となるので、他自治体の事例などを参考に調査研究していく。

3 児玉郡市の観光協会設置について

問 郡市観光協会の早期設置は如何か。美里町のスマートインターの全面開通、上里リバーサイドロード等が開通すれば、本庄児玉地区の観光も面白くなるのではないか。児玉郡市で協力し、東京大都市圏にPRすれば観光或いは移住にも繋がる。昨年11月の神保原駅通り散歩事業は予想外の大盛況であった。町で企画し実行すれば効果は出ると思うし、積極的にやるのが肝心だ。上里町に観光地は少ないが、観光名所は町で作り上げるので、上里ゴルフ場の北側にある彼岸花畑は地元有志が管理し、秋のシーズンにはゴルフアールが花に見入っている。上毛三山も眺望でき素晴らしい場所だ。観光客には帰りにアグリパークで買い物をしてもらい、神川・本庄・美里の名所を散策いただき、美里インターで東京方面に帰るといふ観光ルートをとれば、本庄・児玉観光ルートが出来上がると思うが、町長の見解は。

答 交通拠点である上里町の優位性を生かし、児玉郡市を含めた秩父地区や藤岡市など、広域的な観光連携を検討している。本庄児玉観光ルートも大変興味

深く参考にさせていただきたい。観光協会の設立については議員、町民の皆様にも関心がある施策として認識しているので、前向きに検討していく。

4 総合病院誘致について

問 総合病院の誘致については、医療の偏在化が大きな問題である。簡単に言えば、埼玉県では県南部は医師が充実しているが人口の少ない県北部は医師が不足している。要するに人口3万人の上里町においては、総合病院を維持する財政規模等から総合病院の誘致は難しい状況だが、専門病院の誘致について町長の見解は。

答 専門病院の誘致についても難しい状況だが、埼玉、群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業に関する協定が令和4年に締結されたので、会議に出席の際に児玉郡市の医師不足の解消などの件を要望したい。

議会日誌

3月

- 6日 定例会開会、町長の行政報告
一般質問
- 7日 一般質問
- 8日 全員協議会
- 9日 議案審議(条例改正、補正予算等)
- 10日 議案審議(当初予算)
- 13日 議会運営委員会
- 14日 全員協議会
- 16日 全員協議会
- 17日 議案審議(当初予算)
- 20日 全員協議会
- 22日 常任委員会
- 23日 全員協議会、閉会
- 27日 本庄上里学校給食組合議会

4月

- 12日 全員協議会、議会運営委員会
- 18日 議会広報広聴常任委員会

5月

- 10日 臨時会
全員協議会、議会運営委員会
- 15日 議会広報広聴常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 29日 議会運営委員会



編集後記

上里町議会では、住民参加を基本とし、たまちづくりを推進し、住民に開かれた議会運営を目指しております。昨年からの議会報告会や意見交換会を開催し、住民の方の御意見を拝聴し、議会運営に役立つよう努力しています。又、議会の傍聴

にもお出かけ頂き、率直なご意見をお聞かせ下さい。議会広報広聴常任委員会も議員改選後、5月から2年目に入りました。住民の皆様方に議会の様子や町政の動きを広く知って頂くため、今後も更に読まれる広報誌づくりを目指して参ります。

植原育雄

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 齊藤 崇
- 副委員長 伊藤 覚
- 委員 石井 慎也
- 委員 高橋 勝利
- 委員 植原 育雄
- 委員 高橋 仁
- 委員 戸矢 隆光

6月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	(開会) 一般質問	一般質問		議案審議 (条例・補正)		
11	12	13	14	15	16	17
	常任委員会	報告・採決 (閉会)				

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間は変更になることがあります。)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。

6月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
5日(月)	戸矢 隆光	① 各種事業の進め方について ② 本庄下野堂から駅前に通じる道路について ③ 神保原駅北まちづくり事業について
	齊藤 崇	① 新型コロナウイルス感染症について ② 児童・生徒の不登校について
	石井 慎也	① ゼロカーボンシティについて ② 子育て日本一について
	猪岡 壽	① 移動スーパーについて ② 区長及び民生委員について
6日(火)	新井 實	① 小・中学校の体育館に空調を導入することについて ② 災害対策について ③ 異次元の少子化対策について ④ 小学生の放課後を充実させる施策について ⑤ 教育と人工知能(AI)の活用方法について
	沓澤 幸子	① 利用しやすい公共交通について ② 食料問題と農業振興について ③ 平和都市宣言塔について
	高橋 勝利	① 教員不足について ② 教員が不足している原因について ③ 教員不足への取り組みについて ④ 高校誘致について
	伊藤 覚	① 県道勸使河原本庄線(旧中山道)沿線の交通安全対策について ② 上里町における今後の観光のあり方について ③ 役場職員の人事異動に伴うメンタルヘルスケアについて
	飯塚 賢治	① 脱炭素化の取り組みについて ② 支え合い助け合う地域社会の構築について ③ デフリンピック支援と共生社会の推進について ④ 発達性読み書き障害(ディスレクシア)について
	金子 義則	① ひとり親家庭の養育費確保支援について ② 高齢化による班長制度の対応について ③ 公共事業の選択と優先順位について ④ 防災無線対策について

訂正 議会だより98号5ページ 一般質問 質問② 教育長答弁

訂正前:「選抜の基準として、第一に学力検査の重視、第二として調査の特別活動の記録及び…」

訂正後:「選抜の基準として、一、学力検査の重視、二、調査の特別活動の記録及び…」

